

## 文 献

- 1) 青木孝文ほか：足関節外果骨折に対する固定法の比較検討. 骨折 2001 ; 23 : 672-674.
- 2) 小武守正人ほか：足関節外果骨折に対する経皮内固定法の試み. 骨折 2001 ; 23 : 669-671.
- 3) Burwell, H,N.et al. : The treatment of displaced fractures at the ankle by rigid internal fixation and early joint movement. J Bone Joint Surg 1965 ; 47-B : 634-660.
- 4) 三原栄一ほか：足関節外果骨折に対する中空海綿骨螺子の使用経験. 骨折 1998 ; 20 : 685-688.
- 5) Lauge-Hansen, N : Fractures of the ankle, II . Combined experimental-surgical and experimental-roentgenologic investigations. Arch Surg 1950 ; 60 : 957-985.
- 6) Ramsey, P : Changes in tibiotalar area of contact caused by lateral talar shift. J Bone Joint Surg 1976 ; 58-A : 356-357.

## ほっと ぷらざ

### 皮下組織茎 VY 前進島状皮弁

手や足の皮膚欠損に植皮術を行うことはよくあると思います。全層植皮の場合、一次的創閉鎖を行うために、欠損の形にかかわらず木の葉状の採皮を行うと教えられました。しかし、皮膚腫瘍や外傷による皮膚欠損は、木の葉状よりむしろ円形に近いものが多いと思います。私は、円形の採皮を行う場合、脂肪組織を茎とする2つの三角皮弁を用いた創閉鎖を行っています(図)。この方法は、児島らが指体部と小指球部で皮下血管網を利用した VY 前進島状皮弁として報告していますが(「手の皮弁手術の実際」克誠堂出版)、私の経験では手尺側部や土踏まず部でも応用できるようです。コツは、皮弁移動の際に索状組織のみを切離し、脂肪組織はなるべく温存することです。

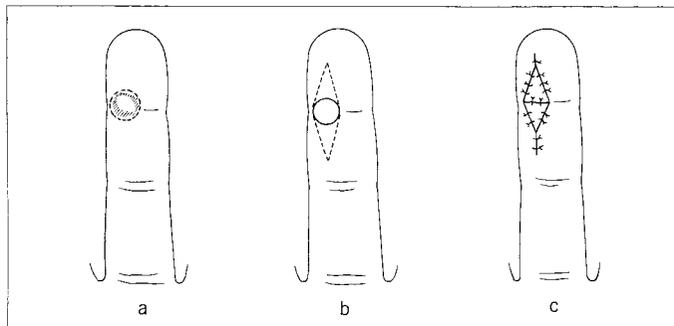


図 指体部における皮下組織茎島状 VY 皮弁

滝川市立病院 整形外科 金谷耕平